

## 数学甲子園 2018 文理高校 数学研究同好会 予選突破

9月16日（日）に東京で開催される 第11回全国数学選手権大会に出場が決定しました。全国各地で開催した「数学甲子園」の予選には、278校 610チーム 2,425人が参加しました（当初申し込み時から3校 27チーム 169人が辞退・失格した最終値）。予選の結果、各チームの平均点上位24チームと、全国12ブロックの各ブロック最上位12チームの合計36チームが、本選への出場権を得ました。

今大会から、本選に進出する36チームのなかの地域ブロック選抜枠が、6チームから12チームへと増えました。このことから、全国各地から地域を代表するチームが集まり、一層白熱した戦いが繰り広げられることになりそうです。いまだ無冠の都道府県勢が初優勝に手を伸ばすのか、あるいは過去10回の大会のうち5回優勝している愛知県勢がさらに記録を伸ばすのか、注目が集まります。

今回初めて本選に出場するのは、徳島文理高校を含め7校。一方で、9校は出場回数5回以上の本選出場常連校です。最多の本選出場回数を誇るのは滝高等学校（愛知県）。今回で5年連続8回めの出場です。また、前大会の優勝校である灘高等学校（兵庫県）は今年も本選出場が決定しました。常連校が力強く優勝をもぎとるのか、初出場校が大会に新たな風を巻き起こすのか、目が離せません。

「数学甲子園」は全国の中学生・高校生・高専生が団体戦で数学力を競い合う大会で、今年2018年で11回目を迎えました。世界的にはSTEM（Science, Technology, Engineering and Mathematics）教育の推進が重要視され、国内でも、理数教育の充実が指摘されるなか、中学・高校・高専生が一堂に会して数学力を競う本大会は必見です。

本大会は、全国の中学校・高等学校・中高一貫教育校・高等専門学校の数学日本一を、チーム（3～5人）対抗戦によって決めるものです。本大会の特長は、単に数学の問題を解くだけではなく、自分たちで問題を創作し、その問題についてプレゼンテーションを行うなどの競技を通じて、「数学力」「創作力」「問題解決力」「チームワーク力」「プレゼンテーション力」を育むことにあります。優勝チームには「文部科学大臣賞」が授与されます。

大会名称：数学甲子園2018（第11回全国数学選手権大会）

主催：公益財団法人 日本数学検定協会 後援：文部科学省 協力：日本公認会計士協会、東京電機大学、株式会社JTB 本選（事前）開催日：2018年9月1日（土）徳島文理高校

本選開催日：2018年9月16日（日） 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター ソラシティホール（東京都千代田区）

賞：○優勝（＝文部科学大臣賞）／1チーム…賞状、優勝カップ、優勝旗（数鷲旗）、メダル、副賞○準優勝／1チーム…賞状、記念トロフィー、メダル、副賞 ○敢闘賞／1チーム…賞状、記念トロフィー、メダル、副賞 ○入賞／4チーム…賞状、副賞